

公園 × マルシェで 「拡大まちかどシェア」

※本内容については発言をまとめたものとなります。
※記載内容の正確性について、確認されたものではありません。

② プロジェクトについて知ろう！

プロジェクトの経緯・公園活用のノウハウ

【まちかどシェア開催の経緯】

- 宮前区には様々な活動をしている人がいるのに、
知られていなくてもったいない！と思った
⇒活動の場を確保したい、皆さんの持っているものを見せたい！
⇒お披露目する場として公園が良いのでは？と思った
- まず道路公園センターに相談した
⇒公共的な意味合いを持ったものでないと使えないし、
町会の方が今管理してくださっている（清掃や木の剪定など）
ということを知った
- 市民館の講座も活用
⇒市民館の公園を使ったコミュニティづくりに関する講座に参加
市民館の担当へ相談したところ、道路公園センターへ声をかけて
くれて、開催可能となった
⇒公共的な活動であると無料、そうでない場合は1,000円かかる
1,000円支払って借りている
- 【町会との関係づくり】
●公園でまちかどシェアを実施していくうちに、
町会との関係づくりが大切だということになった
 - ・（町会の）イベントに顔を出すようにした
 - ・行政（地域振興課）が町会とつないでくれた
⇒町会との関係構築へ
⇒去年の12月に町会とまち倶楽部が、公園清掃の後に
小さなマルシェをやることになっていたが、コロナで延期

12月5日
おちば公園
開催予定

やっと
実施できる
ことに！

公園でのマルシェを通じてやりたいこと・実現したいこと

【解決したい地域の課題】

- まちには資源（活動等）がたくさんあるのに見えていない

【やりたいこと・実現したいこと】

- 公園の徒歩圏内にある資源（活動等）を可視化したい
 - ・いろいろなスキルを持っている方、ガーデニングクラブ、
まじわる、みのり会の方の絵など
 - ⇒イベントを通じて、おちば公園に来られる方に、
こういうまちでこんなことをやっているとなじいなど
思ってもらい、いつかその方たちがプラットフォームの方に
入ってくれるような流れにしたい

まちかどシェアの開催に 向けて困っていること

- ・公園周辺の地域の方
で、手作りを販売
する出店者（プレイ
ヤー）を探している
- ・公園を活用した活動の
ノウハウブックを
つくりたい
⇒手伝ってくれる
人がいるとよい

質問や気づき

Q：出店料はとっているのか？

A：出店料を払うと、自分はその
にお店を単に出している人にな
ってしまうので取っていない。
みんなでその場を作っている
という意識を持ってほしいと考
えている。その代わり利益が上
がった方は1円でもいいので寄
付してくださいと言って、そ
こからチラシ代とか出している。

Q：何をもって成功とみなすか？
どうやって測れるか？

テーブル

1

テーマ

公園 × マルシェで
「拡大まちかどシェア」

(案)

① メンバー

※本内容については発言をまとめたものとなります。
※記載内容の正確性について、確認されたものではありません。

③ ラウンドテーブルで話したいポイントを確認しよう

こんな人／メンバーに手伝ってほしいな
(縁の下の力持ちってどんな人?)

- ・ 手作り品を販売する人
- ・ アンケートをとる人
- ・ 記録する・ **写真を撮る**人

協力
できま
す!

- ・ 現場で**外部的な視点で観察**してくれる人 (来場者がどのような会話をしているか等)
- ・ 声掛けしてくれる人 (案内役)

こんな情報・モノがあったらいいな!

作成協
力でき
ます!

- **ノウハウブック**があるとよい
- ・ 開催準備に必要な調整や段取りや、当日の運営で必要なことを集めて、**チェックリスト**のようにした、ノウハウブックがいずれつくると良い
- ・ 他の公園でも同じような取組をしたいという人の参考になるものをつくって、活動の可視化を広げたい

ラウンドテーブルメンバーからのアドバイス

【広報・参加者集めについて】

- ・ **ふらっと宮前** (Facebookグループ) に載せるとよい
- ・ **町会に相談**するとよい (掲示板がある、回覧板に載せられる、ポスターも貼れる)
- ・ 若い世代を呼ぶには、**PTA、子ども会、青少年指導員**にも相談・声掛けするとよい

【公園活用について】

- ・ **冒険遊び場**については、区民会議ではじまり、宮前区の旗を立てて公園を使っている
- ・ **公園管理運営協議会**に声をかけて、道路公園センターに申請する

【記録について】

- ・ **動画**で参加者・来場者の声や会場の様子も記録できるとよい

【ノウハウの蓄積について】

- ・ **エリアの支配人**のような「エリアスーパーバイザー」がいると、エリアごとにどんな活動が行われたか、**情報やノウハウを集める**ことができる
- ・ 入り口に**参加者に声を掛ける「アッシャー」**がいると、参加者にイベントの**趣旨や内容を案内**できるとともに、どんな人が来たかが把握できる

④ 次回は、

11 / 18 (木)
13:00 ~

宮前区役所 4F大会議室 で
ラウンドテーブルを試してみよう!